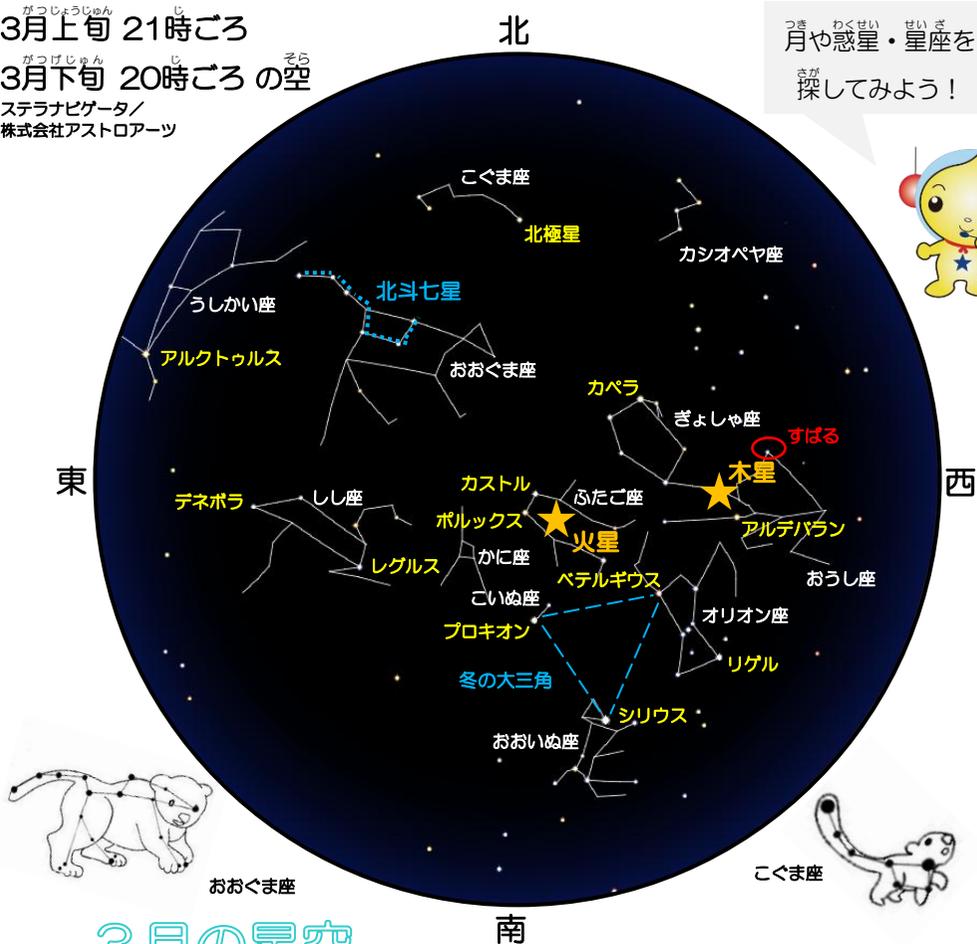
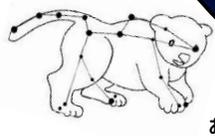


2025年 月刊 星空の散歩道 3月号

3月上旬 21時ごろ
3月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ



3月 月や惑星・星座を
探してみよう!



おおぐま座



こぐま座

3月の星空

☆夜空の主な星座と明るい星☆

- 西から南の空に冬の星座、東の空に春の星座が見える。
- < 西 > おうし座 (アルデバラン)、オリオン座 (ベテルギウス、リゲル)
 - < 天頂 > ぎょしゃ座 (カペラ)、ふたご座 (カストル、ポルックス)
 - < 南 > おおいぬ座 (シリウス)、こいぬ座 (プロキオン)
 - < 東 > しし座 (レグルス、デネボラ)、うしかい座 (アルクトゥルス)
 - < 北 > 北極星、カシオペア座、おおぐま座、こぐま座

☆天文トピック☆

3月 2日 月と金星が並び
夕方、西の空でとても細い月と金星が近づいて見えます。西空が開けたところで見てみましょう。

3月 5日 すばる食
午後10時頃から、月にすばる (プレアデス星団) が隠される現象が起こります。双眼鏡などを使って観察してみましょう。

3月 20日 春分
太陽が春分点 (天の赤道と黄道の交点) を通過する日。

☆月の形の変化☆

3月 7日	上弦	
3月 14日	満月	
3月 22日	下弦	
3月 29日	新月	

☆3月の惑星☆

金星…日没後、西の空低く (上旬)

火星…日没後、南の空

木星…日没後、南の空

<天文コラム>小惑星「イトカワ」の形

小惑星イトカワはその形からラッコが貝を抱える姿やピーナッツにたとえられることがあります。地球や月のような質量の大きな天体は、天体自身の重力により球状となりますが、質量の小さな小惑星はその制約を受けません。一般的に、小惑星の形を探るには、地球からの観測で明るさの変化を測定し、自転や形の偏りを推測する方法があります。また、小惑星に電波を当て、その反射波を分析するレーダー観測も用いられます。これらから小惑星のおおよその形状は分かります。



イトカワの場合、地球からの観測で細長い形であると分かっていましたが、表面の様子までは不明でした。探査機「はやぶさ」は2005年にイトカワへ到達し、さまざまな角度から撮影を行いました。これにより、表面の凹凸やその構造が詳しく分析され、イトカワが一つの岩ではなく、多くの破片が集まった天体であることも判明しました。地球からの観測に加えて、探査機による接近観測を行うことで、より詳しい情報を得ることができたのです。

